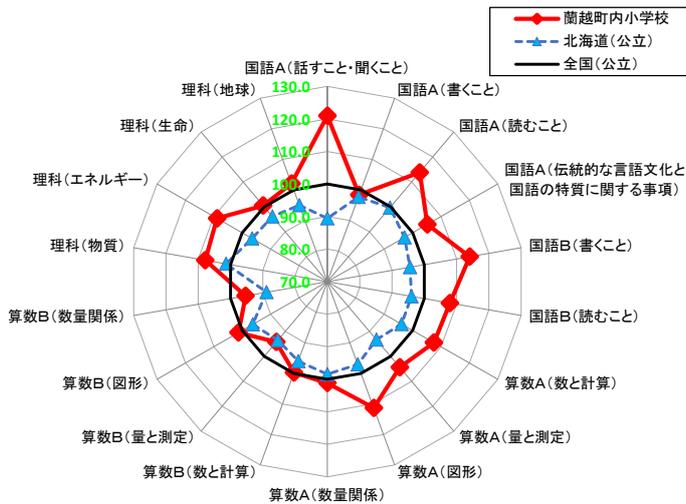


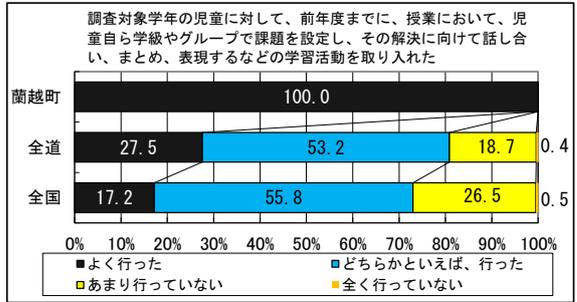
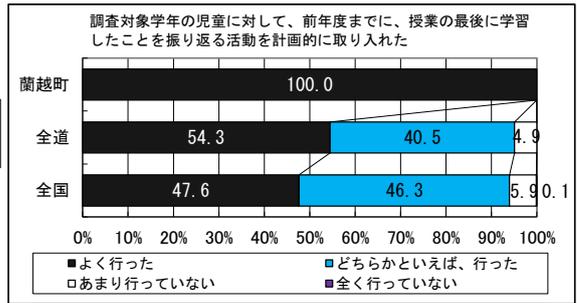
■ 蘭越町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:2、児童数:39名)

【教科全体の状況】

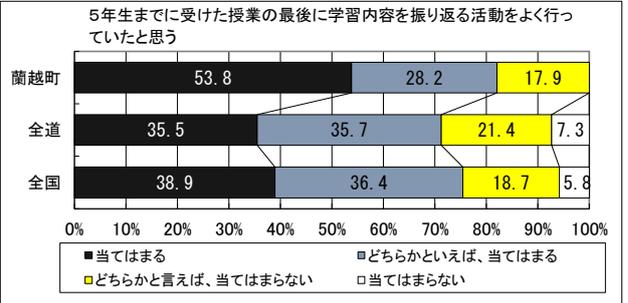
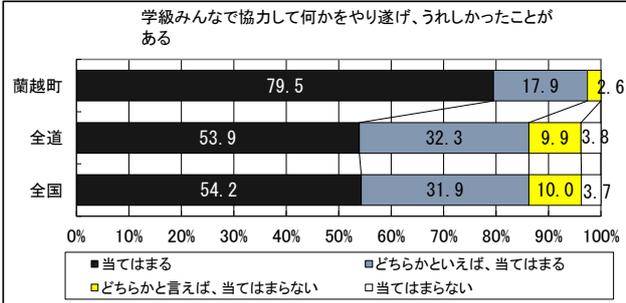
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
 (市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【学校質問紙調査】



【児童質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語Aでは「話すこと・聞くこと」、「読むこと」、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、国語Bでは「書くこと」、「読むこと」で、全国及び全道を上回っている。 ○ 算数Aでは全ての領域、算数Bでは「図形」で、全国及び全道を上回っている。 ○ 理科では、全ての領域で全国及び全道を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 授業において、児童自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れたことにより、「学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがある」と回答した児童の割合が、全国及び全道を大きく上回ったと考えられる。
児童質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがある」と回答した児童の割合が、全国及び全道を大きく上回っている。 ○ 「授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思う」と回答した児童の割合が、全道及び全国を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れたことにより、「5年生までに受けた授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思う」と回答した児童の割合が、全国及び全道を大きく上回るとともに、学習内容が確実に定着し、国語A・B、算数A、理科の多くの領域において、全国及び全道を上回ったと考えられる。
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れた」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「授業において、児童自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れた」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 	

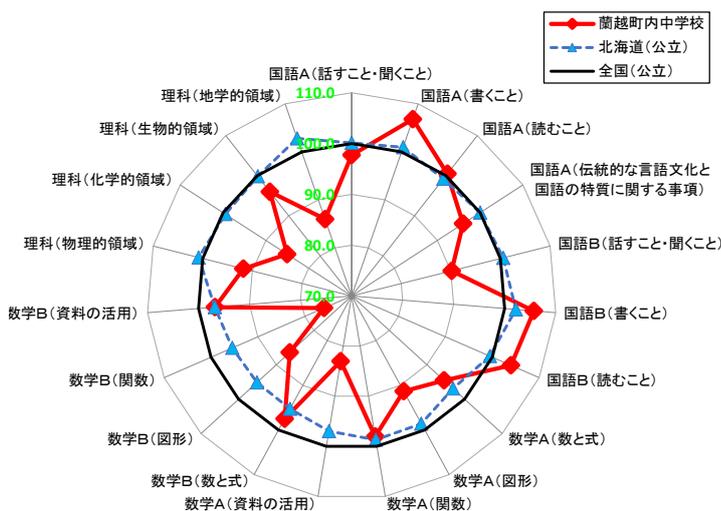
【蘭越町の学力向上策】

- ◎ 長期休業を活用した学習サポート推進事業による基礎学力の定着に向けた取組の実施
- ◎ 観点別学力到達度診断テストの実施による学力向上策の検証改善サイクルの確立
- ◎ 教頭・教務主任等で構成する教育課程交流会による先進的な取組を行っている学校への視察研修の実施
- ◎ 各教科等における情報機器の活用方法に関わる指導の充実

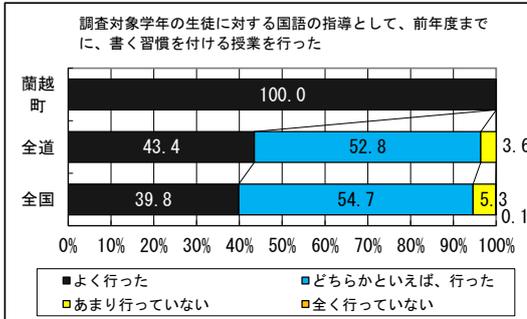
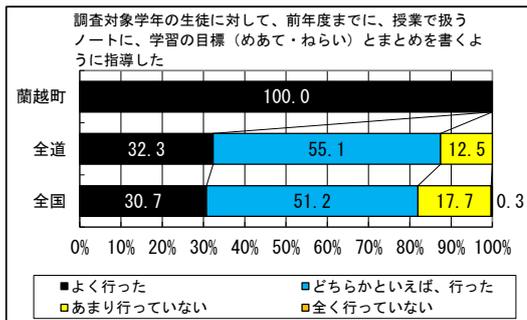
■ 蘭越町内中学校の状況及び学力向上策 (学校数: 1、生徒数: 43名)

【教科全体の状況】

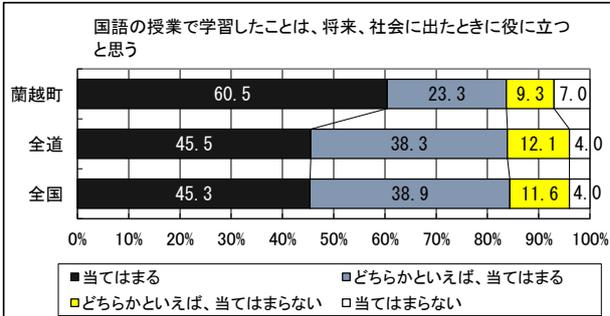
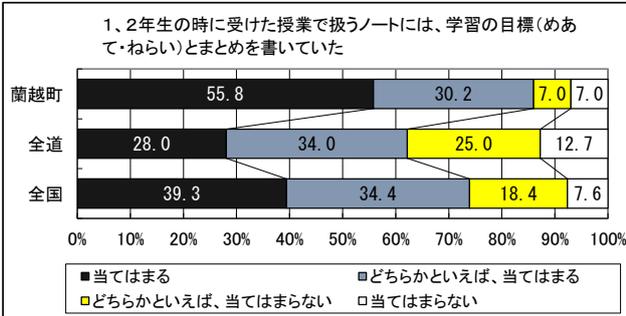
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
 (市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【学校質問紙調査】



【生徒質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語A・Bともに、「書くこと」、「読むこと」で全国及び全道を上回っている。 ○ 数学Bでは、「数と式」で全道を上回り、「資料の活用」で全道と同様である。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語の授業において、書く習慣を付ける指導を継続して行ったことにより、国語A・Bの「書くこと」で全国及び全道を上回ったと考えられる。
生徒質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「授業で扱うノートには、学習の目標(めあて・ねらい)とまとめを書いていた」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を大きく上回っている。 ○ 「国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を大きく上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 授業で扱うノートに、学習の目標(めあて・ねらい)とまとめを書く指導を継続して行ったことにより、「授業で扱うノートには、学習の目標(めあて・ねらい)とまとめを書いていた」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を大きく上回ったと考えられる。
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「授業で扱うノートに、学習の目標(めあて・ねらい)とまとめを書くよう指導した」と回答した学校の割合が、全国及び全道を大きく上回っている。 ○ 「国語の指導として、書く習慣を付ける授業を行った」と回答した学校の割合が、全国及び全道を大きく上回っている。 	

【蘭越町の学力向上策】

- ◎ 長期休業を活用した学習サポート推進事業による基礎学力の定着に向けた取組の実施
- ◎ 観点別学力到達度診断テストの実施による学力向上策の検証改善サイクルの確立
- ◎ 教頭・教務主任等で構成する教育課程交流会による先進的な取組を行っている学校への視察研修の実施
- ◎ 各教科等における情報機器の活用方法に関わる指導の充実